

## 2020年度事業報告書

一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

### (概要)

当連盟は、1974年12月任意団体「日本少年ヨット連盟」として発足、1977年2月に（財）日本ヨット協会の公認団体となり、その後1991年9月25日に社団法人の認可を得ました。2013年4月1日「非営利型の一般社団法人」への移行認可を得て新法人として発足、定款第5条に規定される諸事業を実施して来ております。

新型コロナウイルス感染症の拡大の状況の中で、緊急事態宣言やまん延防止対策等重点対策の発令される1年間でした。各競技会やイベントについては、その開催是非を理事会にて都度検討しましたが、やむを得ず殆どの開催を中止せざるを得ませんでした。これらの対応を検討する理事会、委員会、定時総会等も実際の開催が出来ずに、メール、ファックス等による開催で理事、監事、委員の皆さんの意見を徴して決定して来ました。終盤になって2021年1月よりは、お互いに顔を見ながらのインターネット利用のZoom会議という方法により、意見交換をうことが出来るようになりました。

緊急事態宣言が4月7日に発令されたために、5月3日から開催予定の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2020（若洲大会）を中止しました。

5月25日の解除後、例年の活動開始には大きく遅れましたが、各ジュニアヨットクラブも徐々に練習を開始出来るようになりました。

子供たちも練習を開始すると、レースをしたいという強い希望が出て来たという各クラブからの要望を受けて、全てのイベント、競技会を中止する中で、緊急事態宣言も解除されたことから、6月28日開催の第5回理事会において、第7回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ（ミキハウスカップ大阪2020）と第30回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ（ミキハウスカップ東京2020）を、新型コロナウイルス感染防止対策を公益財団法人日本セーリング連盟、スポーツ庁等の指針に従って実施することで開催準備を進めることを決めました。

又、毎年特別協賛を頂いているミキハウス社様（三起商行株式会社）も新型コロナウイルス感染拡大で業績が大きく影響を受けていることから、レガッタ開催に当たっての協賛金は辞退すること、同社所属のオリンピックセーラーでレガッタ開催時にはいつも出席、協力を頂いている須長由季選手への支援金の拠出と募金の募集活動を決定しました。その後、新型コロナウイルス感染が再拡大の状況となり、各自治体が県外移動自粛要請する等の措置が出たことを受けて、8月15日開催の第6回理事会で、第7回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ（ミキハウスカップ大阪2020）を中止することを決定しました。一方で、9月になり他のセーリング競技会も開催されるようになったので、特別協賛会社三起商行株式会社のご意向と一般社団法人東京都ヨット連盟の協力を確認して、9月25日の理事会で、第30回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ（ミキハウスカップ東京2020）を予定通り10月18日（日）に開催することを決定しました。

第8回ジュニアヨットクラブジャンボリーは、新型コロナウイルス感染拡大状況を勘案して、宿泊を伴うイベントは中止せざるを得ませんでした。

広報誌「ユースセーリング」の発行事業も本年度は2021年2月に、第89号を発行することが出来ました。

(事業活動)

事業1. ジュニアヨットクラブの普及活動と競技会開催に関する事業

(定款第5条 第1項 第3号及び第7号)

1. 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2020 (若洲大会)

東京オリンピック・パラリンピックが7月24日から9月6日まで開催されることから、従来の8月初めに他の競技会を開催することは参加者にとっても運営役員にとっても難しい状況と判断し、ゴールデンウィークの5月3日(金)～5日(日)、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所を会場に、東京都ヨット連盟との共同主催にて、昨年が続いて東京で開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み、外国チームの招聘についての打診ではニュージーランド、オーストラリアは来日出来ないとの回答で、他の外国チームも来日は困難と考えられることから、4月開催の理事会で本年の開催中止を決定しました。

2. 第30回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ (ミキハウスカップ東京2020)

上記概要で述べたような経緯があり、10月18日(日)、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所を会場に、三起商行株式会社(ミキハウス)の特別協賛(沢山の賞品の提供は頂きましたが、協賛金は辞退しました)と大塚製薬株式会社の協賛を頂き、東京都ヨット連盟との共同主催で、無事開催しました。

開催方法については、密を避けるため親善パーティーの中止、ペットボトル飲料配布の中止、受付、出艇申告・帰着申告、抗議等を全てLINEオープンチャットで行う事、その他開催日2週間前からの体温チェック、健康状態チェックシートの提出、マスク着用、手指消毒等の感染防止対策を実施しての開催で、無事終了出来て、その後も感染の報告はありませんでした。

参加申し込みは、9クラブ、OP級初級者16名、OP級上級者12名、レーザー4.75名の合計33名と例年の半数程度のエントリーにとどまり、指導者・保護者28名に、運営役員も絞って35名として、合計96名の参加でした。

3. 第7回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ (ミキハウスカップ大阪2020)

9月6日(日)、今年も大阪府貝塚市の二色ハーバーで、三起商行株式会社(ミキハウス)の特別協賛と大塚製薬株式会社、株式会社フォーチュンの協賛を頂いて、大阪府ヨットセーリング連盟との共同主催にて開催予定で準備を進めましたが、新型コロナウイルス感染の再拡大と県外移動自粛要請の状況から、8月の理事会で開催中止を決定しました。

4. 第8回ジュニアヨットクラブジャンボリー

東京オリンピック・パラリンピックが7月24日から9月6日に開催される予定から、ゴールデンウィークに国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2020を開催する計画としたために、今年は8月8日(土)～10日(月・祝)の2泊3日の日程で、茨城県行方市のご協力を頂いて、宿泊は昨年と同じ茨城県立白浜少年自然の家を利用、活動場所は天王崎公園を会場に変更し、茨城県セーリング連盟と、天王崎公園を活動拠点としている麻生ヨットクラブも加わって頂き、3者の共同主催で開催を企画、準備しましたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を勘案して、宿泊を伴うイベントは中止せざるを得ませんでした。

## 事業2. 諸外国との交流・親善に関する事業

(定款第5条 第1項 第4号)

### 1. 外国チームの招聘事業

毎年開催している「国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会」に外国チームを招聘し、交流と親善を図っていますが、今年は国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2020が開催中止となったので、招聘事業も中止としました。

### 2. 海外セーリング研修派遣事業

(1) 10月開催の「第30回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ (ミキハウスカップ東京2020)」の国内クラブ対抗レースの優勝クラブ、葉山町セーリング協会に海外セーリング研修参加資格を授与する特別賞が授与されました。

本年度は、国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2020と第7回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ (ミキハウスカップ大阪2020) が開催中止となったので、海外セーリング研修参加者は上記の1名に同じクラブの自己負担参加者1名の計2名みとなりました。

2021年3月に研修実施を企画しましたが、年が変わっても新型コロナウイルス感染拡大の勢いは収まらず、海外渡航も厳しい条件がある事と受け入れ側候補のオーストラリア、ニュージーランド、シンガポールも日本からの入国禁止或いは2週間の隔離等の厳しい条件が付けられたので、2021年度の海外セーリング研修派遣選手と合同の実施 (開催は2022年3月予定) とすることについて、特別賞授与の葉山町セーリング協会の了解を得て、本年度での実施は中止としました。

### 3. 外国ジュニアヨットクラブとの交流親善事業

日本パラオ親善ヨットレース実行委員会との協力関係に基づき、パラオ共和国でのセーリングの普及のため、指導者の派遣やヨットレースの開催支援その他のサポート活動を検討しましたが、本年度は特に要請もなく活動は行われませんでした。

## 事業3. ジュニアヨットクラブの指導者の養成に関する事業

(定款第5条 第1項 第1号、第2号及び第5号)

### 1. ジュニアヨットクラブの指導者の養成に関する事業

#### (1) 管理運営及び安全確保に関する指導事業

本年度は定時総会、理事会もメール、書面での開催であったこと、国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2020も開催中止となったことから、例年開催していた指導者研修会、安全講習会が開催出来ませんでした。

#### (2) 指導者の養成事業

連盟の公認指導員制度に従って、各クラブから新規公認申請の募集を行うと共に、4年毎の更新認定の募集を毎年行っています。

更新した公認指導員は当連盟の役員4名で、新規公認申請者はありませんでした。

#### (3) 管理運営及び安全確保に関する調査研究事業

本年度は特に調査研究する事業がありませんでした

#### 事業4. 広報誌「ユースセーリング」の発行事業

(定款第5条 第1項 第6号)

ジュニアヨットクラブに関する広報活動の内、ホームページによる広報活動は連盟の通常活動として実施しており、従来よりも充実して来ています。広報誌「ユースセーリング」の発行事業も本年度は2021年2月に、第89号を発行することが出来ました。

その他の通常活動として、希望する事前登録メンバー（正会員、特別会員、登録クラブの指導者、保護者、ジュニアセーラー他セーリング界関係者）に「J J Y U通信」をE-mailやファクスで発信していますが、本年度は発信出来ませんでした。

#### (会員、クラブの状況その他)

(1) クラブの代表者である正会員は2021年（令和3年）3月31日現在24名、学識経験者である正会員は23名で正会員の合計は47名です。

(2) 登録クラブ数は2021年（令和3年）3月31日現在24です。  
サポーター会員登録者は2名です。

(3) 特別会員は、アサヒグループホールディングス株式会社、株式会社ライフサイエンス研究所の2企業です。  
(2021年（令和3年）3月31日現在)

#### (4) 連盟会長表彰

当連盟の定款に定める目的及び事業に照らし、その業績が顕著な者或いはジュニアヨットクラブ等の団体を連盟会長名をもって行う表彰制度を、2016年度（平成28年度）から発足しました。

2020年度（令和2年度）の表彰者について2回の表彰委員会で審議の結果を、2020年（令和2年）5月24日開催の2020年度（令和2年度）第二回理事会に諮り、石川靖雄氏（茨城県セーリング連盟ジュニアヨットクラブ 代表者）が決定しましたが、本年度の定時総会が新型コロナウイルス感染拡大状況から実際に開催出来ないということで、表彰式（表彰状、記念品の授与）も実施出来ないことから、本年度は会長表彰は行わないという事に決定し、表彰候補者の石川靖雄氏にも事情をご説明しました。

又、公益財団法人日本セーリング連盟の2020年度（令和2年度）定期表彰については、当連盟より推薦した青山義弘氏（葉山町セーリング協会代表者、当連盟理事）が優秀指導者賞を授与され、2021年（令和3年）1月23日（土）、新型コロナウイルス感染拡大状況からフルオンラインで開催された全国加盟団体代表者会議に於いて、出席者に対して受賞者の紹介と表彰状、副賞のお披露目という形式での表彰式が行われました。

以上